



# 営業の中間ご報告

(ミニディスクロージャー誌)

2014.9 平成26年4月1日～平成26年9月30日



池田泉州ホールディングス

池田泉州銀行

池田泉州証券

ごあいさつ

池田泉州銀行は  
「地域の皆さまからのご支持No.1」を目指します

3つの勝ち残り戦略

トピックス

業績ハイライト

● 池田泉州ホールディングス ..... 9・11

● 池田泉州銀行 ..... 9・12

プロフィール ..... 13

店舗のご案内 ..... 14



関西を代表する、開かれた新金融グループに相応しい、関西2府4県の形をモチーフとしたシンボルです。上へと伸びる縦のラインは、新金融グループの誕生によって関西エリアに様々なネットワークのつながりが広がっていくことを表現しています。

ブランドカラーは水をイメージ。新金融グループの成長性や自由闊達な社風を象徴する澄んだ青色です。

### 経営理念

「幅広いご縁」と「進取の精神」を大切に、お客様のニーズに合ったサービスを提供し、地域の皆様に「愛される」金融グループを目指します。

### 経営方針

- ①人と人とのふれあいを大切にし、誠実で親しみやすく、お客様から最も「信頼される」金融グループを創ります。
- ②情報収集と時代の先取りに励み、先進的で高品質なサービスの提供によって、地域での存在感が最も高い金融グループを創ります。
- ③健全な財務体質、高い収益力、経営効率の優位性を持つとともに、透明性の高い経営を行い、株主の信頼に応えます。
- ④産・学・官のネットワークを活用し、様々なマッチングを通して、「地域との共生」を進めます。
- ⑤法令やルールを厳守し、環境に配慮した企業活動を行うことによって、社会からの信頼向上に努めます。
- ⑥グループ行員に、自由闊達に能力を發揮し、また能力向上を図れる職場を提供するとともに、よき市民としての成長を支援していきます。

## ごあいさつ

平素は池田泉州ホールディングスグループをお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

平成26年度中間期の業績につきまして、池田泉州ホールディングス(連結)の純利益は80億円となりました。引き続き、利鞘環境は厳しいものの、合併シナジー効果によるコスト削減等により、前年同期比24億円増加いたしました。

池田泉州銀行の預金残高は、年間1,245億円増加し、貸出金残高は、地元企業への事業性貸出を中心に年間597億円増加いたしました。預かり資産残高も、証券子会社との銀証連携による提案商品の多様化により、証券子会社分を含め年間131億円増加するなど、順調に推移いたしました。

当社グループの証券子会社「池田泉州TT証券」は、平成26年9月2日に開業1周年を迎えたが、おかげさまで、預かり資産残高は561億円、口座数は1万口座を超えるなど、業績は極めて順調に推移しております。

産学官の連携では、12月9日・10日の両日、「ビジネス・エンカレッジ・フェア2014 先進技術を発信。～関西から新たな未来を～」を開催いたします。平成12年より続く当行フェアの趣旨「地元関西の仕事の創造、競争力強化のお役に立ちたい」との想いを継承し、関西の産学官金ネットワーク参加による多面的なビジネスチャンス創出のお手伝いをいたします。

中国蘇州市に開設しております、地銀で唯一となる駐在員事務所は、おかげさまで、9月8日に開設8周年を迎えました。12月11日には「蘇州懇話会」の第3回総会を予定するなど、今後も、関西経済界と蘇州市との更なる交流に努めてまいります。

また、地域の雇用促進への取り組みとしまして、地元自治体をはじめハローワーク等と共同で合同企業説明会を各地で開催いたしました。これからも、優れた人材の確保を望まれる地元企業と就職を希望される人材をマッチングすることで、地元の雇用創出ひいては地域活性化に貢献してまいります。

私どもは、「地域第一主義」「お客さま第一主義」の理念を大切に、「関西No.1のリレーションシップ地域金融グループ」を目指して、「地域の皆さまからのご支持No.1」のご評価をいただけますよう、全力で取り組んでまいります。今後とも、変わらぬご愛顧とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成26年 12月

池田泉州ホールディングス 取締役社長  
池田泉州銀行 取締役頭取

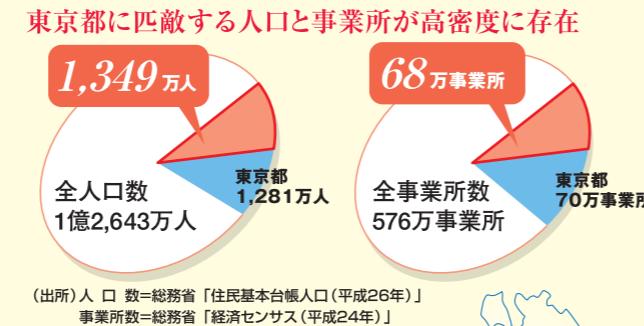
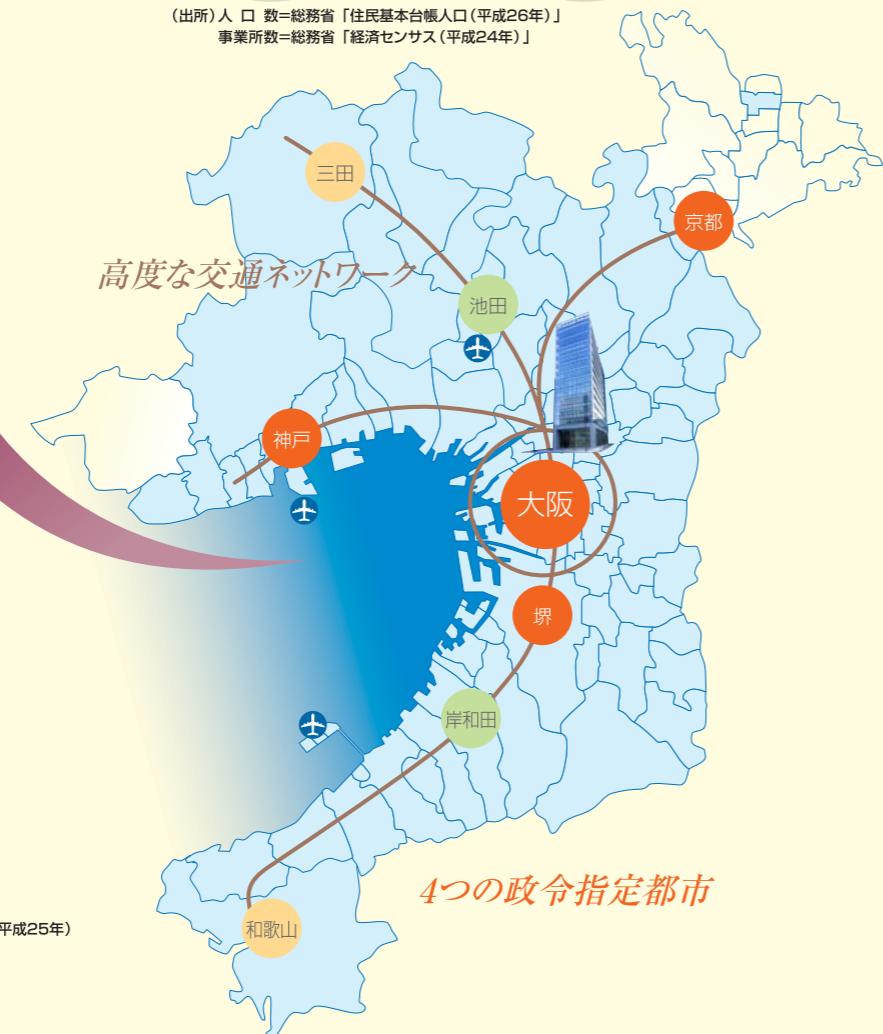
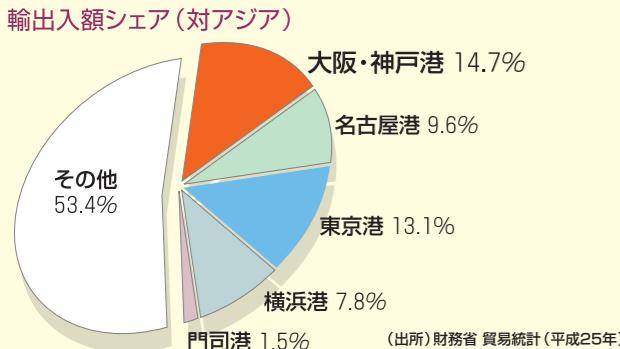
藤田 博久



# 池田泉州銀行は、全国有数の恵まれたマーケットで、「地域の皆さまからのご支持No.1」を目指します。



阪神港、3つの空港を有し、  
アジア貿易では国内No.1



当社グループの営業エリアは、高度な交通ネットワークと4つの政令指定都市を有し、東京都に匹敵する人口と事業所、そして、アジア・チャイナ・ゲートである阪神港と3つの空港を有した全国有数の恵まれたマーケットです。しかも、従来からのバランスのとれた産業構造に加え、平成26年3月には大阪阿倍野・天王寺地域では、高さ日本一の超高層複合ビル「あべのハルカス」がグランドオープン、大阪駅北側の再開発エリア「うめきた」では2期地区の開発が始動するなど、今後ますます成長が見込まれる極めて高いポテンシャル、いわば「地域力」を有したマーケットです。

こうした中で、人口減少や地域経済の変遷など変化する将来に向け成長戦略をより確かなものとするため、2020年度に向け『長期経営計画』を策定し、地域金融機関として従来にも増して地域との「共生」に力を注いでまいります。

## 長期経営計画 ~2020年度に向けて

### 目指すべき姿は—“関西No.1のリレーションシップ地域金融グループ” ～地域の皆さまからのご支持No.1～

#### [重点戦略]

① 収益力の拡大

独自の提案力強化と  
変化に対応した  
『ビジネスモデル』確立

② 強靭な企業体質の確立

BPRの徹底  
合併シナジー極大化

③ 自己資本の充実

最適な長期的資本政策の遂行

#### ■2020年度の目指すべき経営指標

池田泉州ホールディングス(連結)	2013年度 (実績)
経常利益	175億円
税金等調整前当期純利益	196億円
当期純利益	166億円
自己資本比率	10.49%

池田泉州ホールディングス(連結)	2014年度 (実績)	2014年度 中間期(実績) 通常(計画)
経常利益	96億円	195億円
税金等調整前当期純利益	95億円	-
当期純利益	80億円	170億円
自己資本比率	10.60%	10%半ば

#### 池田泉州銀行(単体)

池田泉州銀行(単体)	2013年度 (実績)
コア業務純益	132億円
総資産	5兆3,386億円
コア業純ROA(与信コスト控除後)	0.29%
コアOHR	77.7%
自己資本比率	9.69%

池田泉州銀行(単体)	2014年度 中間期(実績) 通常(計画)
コア業務純益	69億円
総資産	5兆4,105億円
コア業純ROA(与信コスト控除後)	0.22%
コアOHR	76.8%
自己資本比率	9.81%

池田泉州銀行(単体)	2015年度 【中期経営計画】
コア業務純益	210億円以上
総資産	5兆5,000億円以上
コア業純ROA(与信コスト控除後)	0.3%台半ば
コアOHR	60%台
自己資本比率	10%程度

池田泉州銀行(単体)	2020年度 【長期経営計画】
コア業務純益	270億円以上
総資産	6兆円以上
コア業純ROA(与信コスト控除後)	0.4%台半ば
コアOHR	60%台前半
自己資本比率	10%程度

# 3つの勝ち残り戦略

## 効率化戦略

### 合併シナジーの実現・ローコスト体制の強化

- ローコストオペレーションを断行し、合併シナジーを最大限に実現します。
- IT投資や事務集中体制の見直しにより、ローコスト体制の強化を図ります。

## アライアンス戦略

### 独立系の地方銀行として、「系列・グループにとらわれない自由な独自のビジネスネットワーク」を構築してまいります。

(自治体、内外金融機関、大学・研究機関、政府系機関等)

また、お客さまの様々なニーズに対応するため、これらの高品質な提携ネットワークを活用して、優れた商品・サービスを導入してまいります。

### 自治体との連携

産業(地域)振興や、環境・エネルギー施策などに関する連携協定を締結した地元自治体は18府市町となりました。

また、協定締結を機に「産業振興融資ファンド」「創エネ・省エネ融資ファンド」などを創設し、地域の事業者の皆さまへの資金供給や、「地域ブランド」の育成・全国発信のお手伝いなど、地域の活性化とお客さまサービスの向上に努めてまいります。

### 大学との連携

「産学連携基本協定」など、関西の主要な大学との連携は、合計16大学となりました。

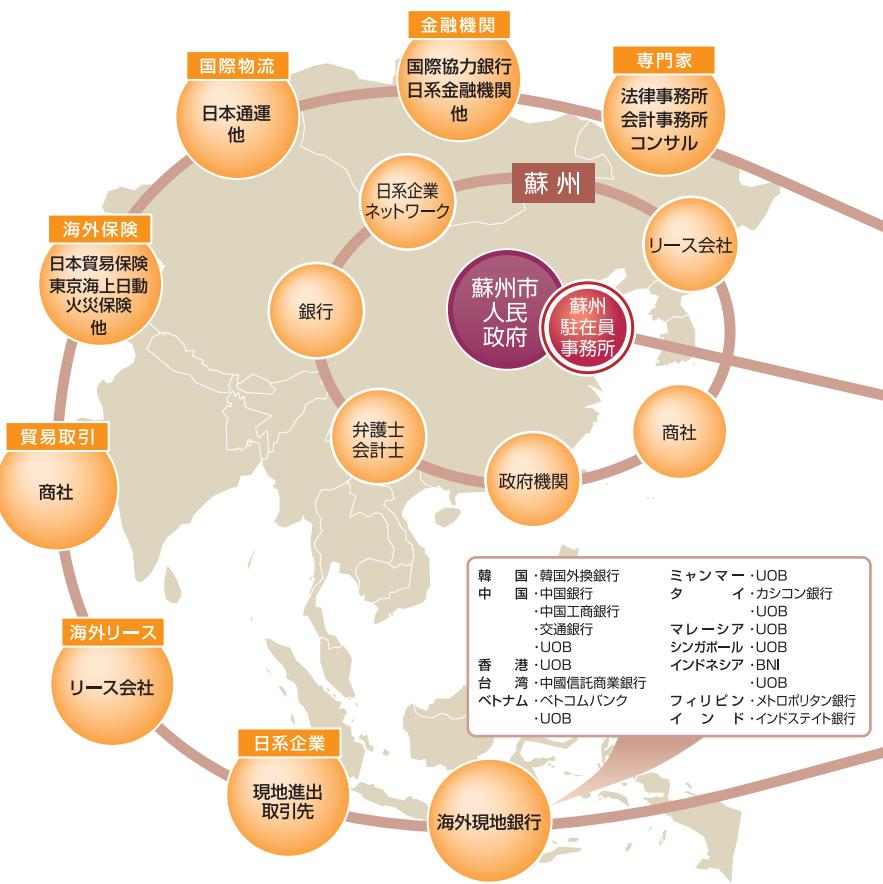
大学発のベンチャー企業への投融資支援のほか、産業、学術研究、人材育成、まちづくりなど、様々な分野で、相互の交流・産学連携強化を図り、地域社会の発展に貢献してまいります。

### 海外の銀行との連携

平成26年7月、台湾の民間銀行最大手の中華人民共和国商業銀行を傘下に持つ「中國信託ホールディング」と業務協力協定を締結しました。

これにより、海外現地銀行との業務提携は、12カ国・11行に拡大しました。

引き続き、アジア地域のネットワーク拡充を図り、地元企業のアジア・チャイナビジネスを積極的にサポートしてまいります。



## 3つの独自戦略

### ① アジアチャイナ本部～アジア・チャイナビジネスのサポート力強化

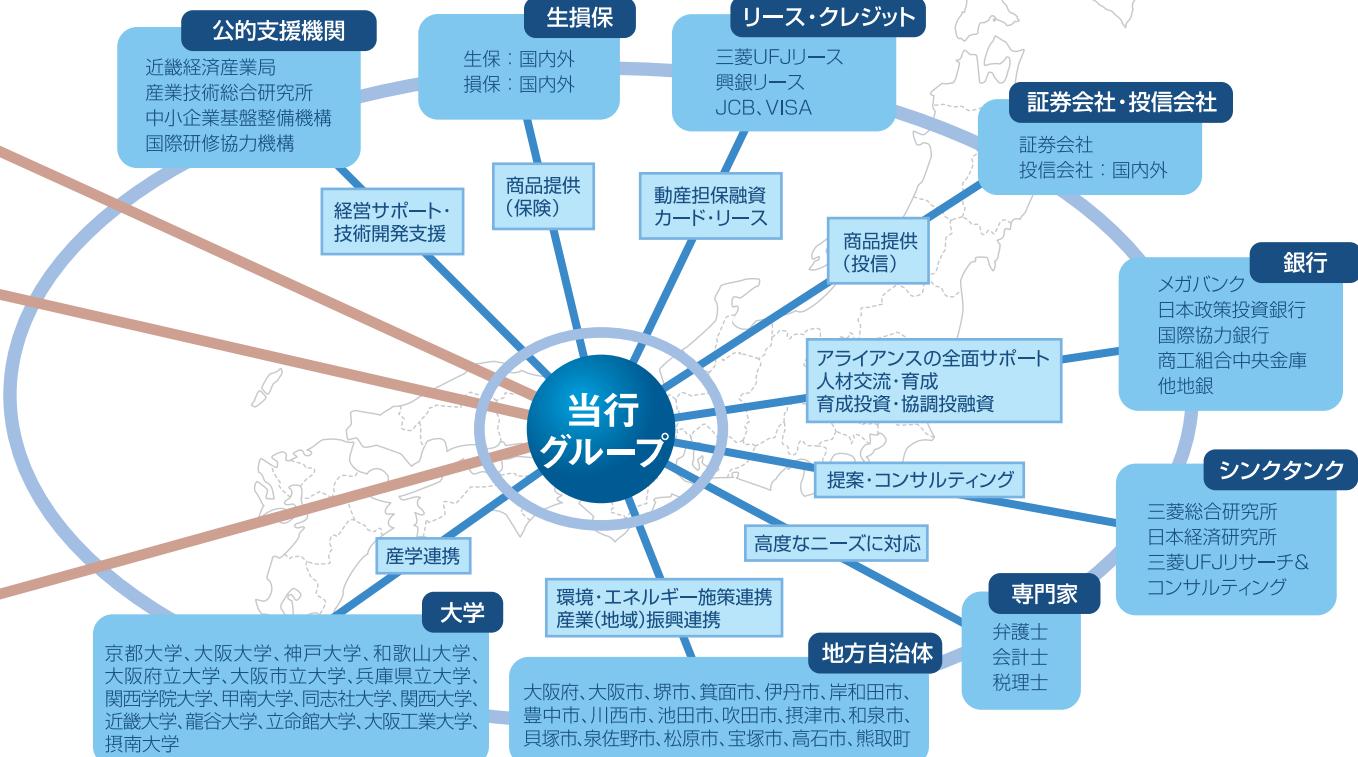
商社・銀行・法律事務所等の提携ネットワークを活用し、きめ細かく・幅広く・具体的に、地元企業の海外進出や貿易取引を支援します。また、自治体・商工会議所との連携によるセミナー開催や、海外ミッション、海外企業との商談会等、お客さまのお役に立つ情報・サービスの提供に努めてまいります。

### ② 先進テクノ本部～産学官連携推進と先進テクノ企業のサポート

国・自治体・大学・公的研究(支援)機関等との緊密なネットワークを活用・拡充し、産学官連携を推進しながら、助成金制度(ニュービジネス助成金、コンソーシアム研究開発助成金)の運営や助成金応募企業に対する技術マッチング等を通じて、先進的技術を持つ成長企業の支援、創業・新産業創出の支援に努めてまいります。

### ③ プライベートバンキング本部～プライベートバンキング業務の推進

経験豊富な「プライベートバンカー」を設置し、「プロが」「中長期的に」「幅広く」「オーダーメイドで」、事業承継、資産承継、資金運用、M&A、ローンアレンジメント、医療・介護ビジネス、信託代理店業務等、様々なニーズにお応えしてまいります。



## 「関西活性化シンポジウム」を開催

平成26年8月8日、グランフロント大阪において、「関西が世界を変える  
関西から世界を変えよう『WE SHALL CHANGE THE WORLD!』」  
をテーマに関西活性化シンポジウムを開催しました。

まず、理化学研究所 計算科学研究機構 機構長 平尾公彦氏による  
「スーパー・コンピュータが未来を拓く」と題した基調講演があり、続  
いて、京都大学の松本総長、大阪大学の平野総長、神戸大学の福田  
学長、ダイキン工業の井上会長、サントリーホールディングスの鳥井  
副社長、理化学研究所の平尾機構長の6名によるパネルディスカッ  
ションを開催。(役職名はシンポジウム開催当日のものです)

京都大学、大阪大学、  
神戸大学の全面的な  
ご協力を得てのシンポ  
ジウムは、今回で4回目  
となり、当行が長年取  
組んできました。産学官  
連携活動は大きな広が  
りを見せています。



## 地域の雇用を促進 各地で合同企業説明会を開催

地域の雇用促進のお手伝いとして、合同企業説明会を開催しました。  
平成26年7月30日・31日の両日、「あべのハルカス」にて、地元企業  
と就職を希望する人材をつなぐ「OSAKAジョブフェアinハルカス」  
を大阪労働局や大阪府などと共同開催しました。

8月7日・8日には、阪南大学・松原市・松原商工会議所と当行の4者が  
連携し、阪南大学の卒業予定者を対象に、合同企業説明会を開催。  
9月1日には、堺市と3回目となる合同企業説明会を開催し、堺市の地元  
企業56社が参加されました。  
また、9月25日、大阪府及び阪  
神間の6つのハローワークと共に  
て「若者のための合同企業  
面接会」を開催し、地元企業を  
中心に76社が出展されました。

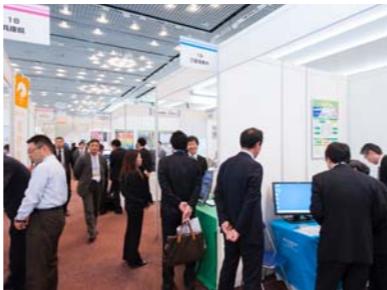


## 「ビジネス・エンカレッジ・フェア2014」開催

平成26年12月9日・10日の両日、「大阪国際会議場」において、『ビ  
ジネス・エンカレッジ・フェア2014 先進技術を発信。～関西から  
新たな未来を～』を開催いたします。

「地元関西の仕事の創造、競争力強化のお役に立ちたい」との  
想いで、平成12年よりスタートした当フェアは、産学官の出会い  
の場を設け、多面的なビジネスチャンスを創出いたします。また、特  
別企画として、「産業技  
術総合研究所関西セン  
ター技術展～探そう、明  
日を拓く技術～」なども  
展示いたします。

当行は、これからも「地  
域第一主義」「お客さま  
第一主義」を念頭に、地  
域の活性化に貢献してま  
ります。



写真は、昨年の「ビジネス・エンカレッジ・フェア2013」

## ベトナム進出・販路開拓を 3ステップで応援!

産業振興連携協定を締結している堺市と連携し、ベトナムへの事業  
展開を検討されているお取引先を、平成26年8月22日より3つの  
ステップで応援しました。

ステップ1の「ベトナム進出・販路開拓セミナー」では、現地進出や  
販路開拓のポイント、成功事例の紹介等、情報収集を図っていただき  
ました。続いてステップ2の「ビジネス交流TV会議」では、「ホー  
チミン」・「ハノイ」・「堺市」  
をインターネットで結び、企業  
紹介等の交流を行いました。  
そして、ステップ3の「ベトナム  
経済交流ミッション」では、現  
地視察の他、販路開拓を目的  
としたビジネスマッチングを行  
いました。



## おかげさまで、 蘇州駐在員事務所 開設8周年

平成26年9月5日、蘇州市において「蘇州駐在員事務所開設8周年  
記念レセプション」を開催しました。蘇州市人民代表大会常務委員会・  
顧仙根副主任、日本国駐上海総領事館・丸山浩一首席領事をはじめ、  
地元政府関係者や現地日系企業の方々など約300名の皆様にご出  
席いただきました。レセプションに先立ち、蘇州市人民政府商務局より、蘇州市の現在  
及び将来の取組みについて、ご説明いただきました。レセプション  
では、当行相談役の服部より、「蘇州駐在員事務所の移転」を報告し、  
「経済・文化交流を通して、引き続き蘇州との架  
け橋の役割を果たしたい」と挨拶。

当行はこれからも、蘇州  
市とのネットワークを活  
用し、お取引先企業に  
価値のある情報を提供  
してまいります。



## ～芸術を志す若い力を応援～ 「2015年 池田泉州銀行カレンダー原画」決定

「地域のため、地域の皆さまのお役に立ちたい」との願いのもと、  
関西で芸術を志す若い力を応援するため、平成19年から毎年、「池  
田泉州銀行カレンダー原画」を募集しております。

8回目となる今回は、41大学(専門学校含む)1,247点もの応募作品  
の中から、「最優秀作」1点、「佳作」5点を選定しました。最優秀作・佳  
作に選ばれました6名の方々には、11月10日の表彰式において、こ  
れからの活躍を期待して、総額100万円を贈呈しました。

最優秀作は2015年の当行カレンダーとしてお客様へ約5万部  
お配りします。

当行はこれからも、  
地元金融機関として、  
地域文化の発展、地  
域社会の活性化に  
向けて、様々な取組み  
を行ってまいります。



## 自然環境保全活動に参加

平成26年9月27日に開催され  
た共生の森「みんなで草刈活動」  
に、ボランティアとして当行の  
行員が参加し、過去に植えた  
苗木が草に負けて枯れること  
なく育つように、草刈りを行  
いました。



「共生の森」は、大阪府やNPO、  
企業等の団体が協働で堺市臨  
海部の廃棄物処分場跡地にお  
いて、自然の力を活かしながら  
長い時間をかけ、森林空間など  
の自然環境を創出する取組み  
です。



## 池田泉州ホールディングス

連結経常収益は、証券子会社による役務取引等収益の増加がありましたが、資金運用収益や国債等債券売却益の減少などにより、507億9百万円となりました。連結経常費用は、資金調達費用や国債等債券売却損・償却の減少などにより、410億42百万円となりました。

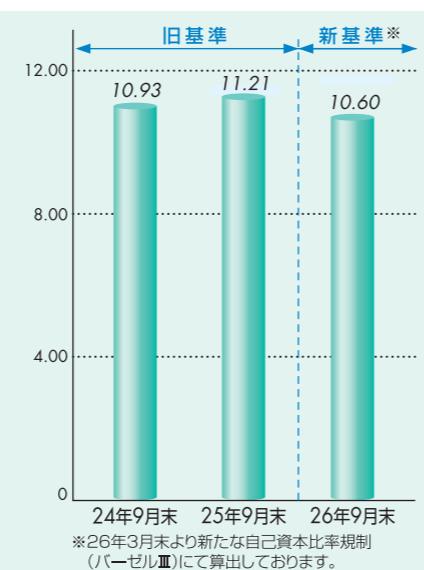
以上の結果、連結経常利益は25年9月期比24億78百万円増加して、96億67百万円となりました。

また、特別損益や法人税等合計などを計上後の連結中間純利益は、25年9月期比24億49百万円増加して、80億99百万円となりました。

■ 連結経常利益・連結中間純利益 (単位:百万円)

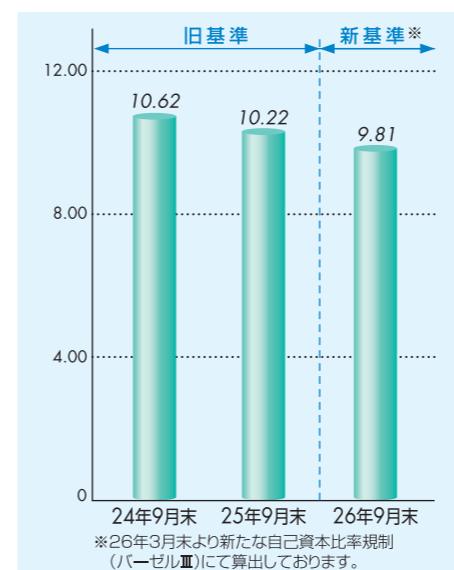


■ 連結自己資本比率(国内基準) (単位:%)

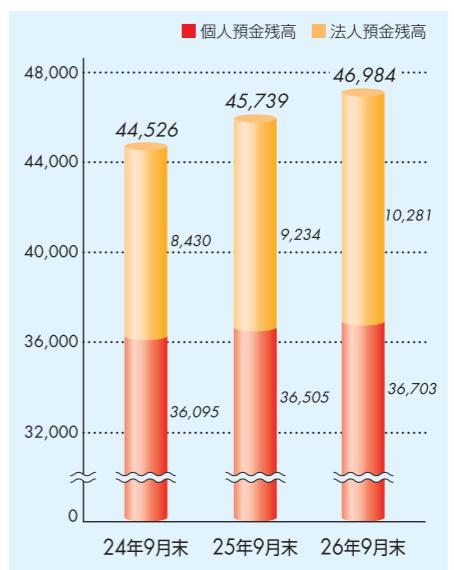


## 池田泉州銀行

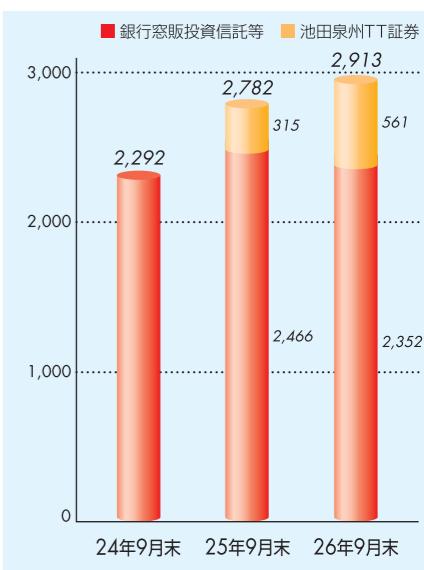
■ 自己資本比率(国内基準) (単位:%)



■ 預金残高 (単位:億円)



■ 預かり資産残高 (単位:億円)



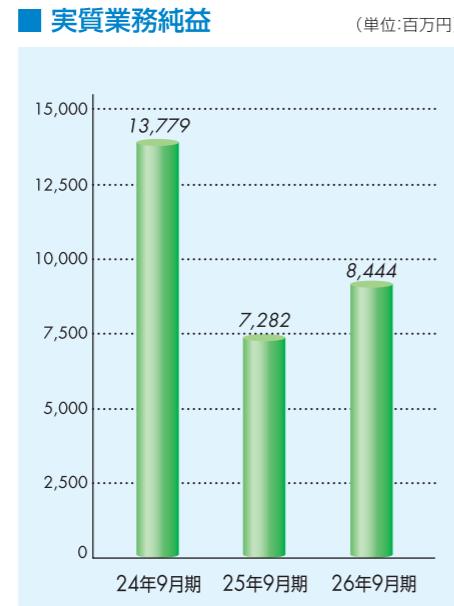
## 池田泉州銀行

経常収益は、資金運用収益や国債等債券売却益の減少などにより、443億39百万円となりました。経常費用は、資金調達費用や国債等債券売却損・償却の減少などにより、362億40百万円となりました。

以上の結果、実質業務純益は、25年9月期比11億62百万円増加して、84億44百万円となり、経常利益は、23億32百万円増加して、80億98百万円となりました。

また、特別損益や法人税等合計を計上後の中間純利益は、25年9月期比20億83百万円増加して、76億6百万円となりました。

■ 実質業務純益



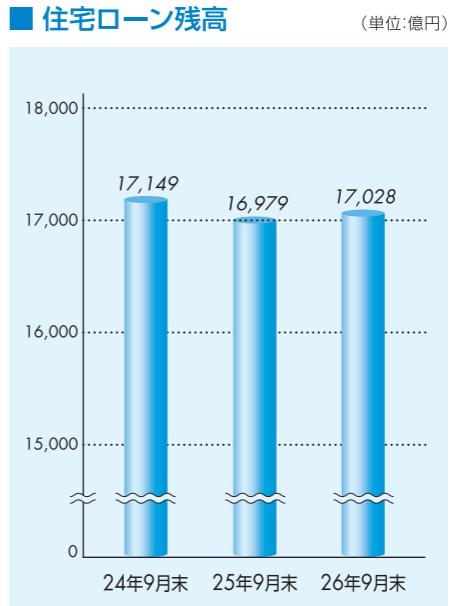
■ 経常利益・中間純利益 (単位:百万円)



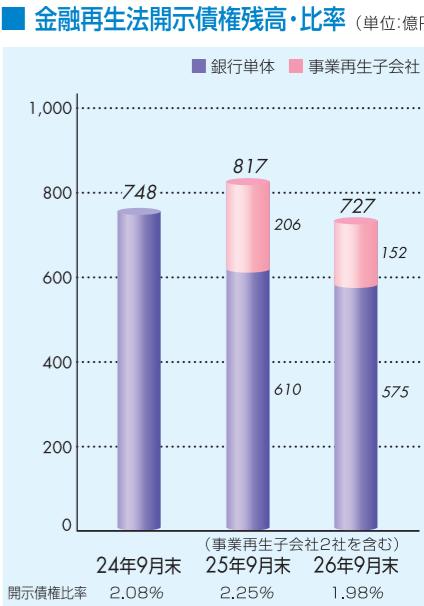
■ 貸出金残高 (単位:億円)



■ 住宅ローン残高 (単位:億円)



■ 金融再生法開示債権残高・比率 (単位:億円)



# 平成26年度中間期 業績ハイライト

## 池田泉州ホールディングス

### ■ 中間連結貸借対照表の要旨 (平成26年9月30日現在) (単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	258,697	預 金	4,664,236
コールローン及び買入形	511	債券貸借取受人担保金	275,505
買入金銭債権	93	借 用 金	133,485
商品有価証券	146	外 国 為 替	503
金銭の信託	27,912	社 債	70,000
有価証券	1,379,933	そ の 他 負 債	47,651
貸出金	3,628,410	賞 与 引 当 金	1,875
外 国 為 替	7,273	退職給付に係る負債	784
そ の 他 資 産	58,979	役員退職慰労引当金	39
有形固定資産	38,340	睡眠預金払戻損引当金	482
無形固定資産	7,246	ボイント引当金	195
退職給付に係る資産	8,769	偶発損失引当金	367
繰延税金資産	23,757	特別法上の引当金	0
支 払 承 諸	18,618	そ の 他 負 債	127
貸 倒 引 当 金	△34,308	負 債 の 部 合 計	5,213,874
資 産 の 部 合 計	5,424,382	(純資産の部)	
		資 本 金	79,811
		資 本 剰 余 金	59,205
		利 益 剰 余 金	50,682
		自 己 株 式	△375
		株 主 資 本 合 計	189,324
		その他有価証券評価差額金	9,775
		繰延ヘッジ損益	△6
		退職給付に係る調整累計額	1,189
		その他の包括利益累計額合計	10,958
		新 株 予 約 権	53
		少 數 株 主 持 分	10,171
		純 資 産 の 部 合 計	210,508
		負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	5,424,382

### ■ 中間連結損益計算書の要旨 (平成26年4月1日から平成26年9月30日まで) (単位:百万円)

科 目	金 額
経 常 収 益	50,709
資 金 運 用 収 益	29,982
(う ち 貸 出 金 利 息)	(24,351)
(う ち 有 価 証 券 利 息 配 当 金)	(5,414)
役 務 取 引 等 収 益	10,459
そ の 他 業 務 収 益	3,481
そ の 他 経 常 収 益	6,785
経 常 費 用	41,042
資 金 調 達 費 用	4,297
(う ち 預 金 利 息)	(2,981)
役 務 取 引 等 費 用	2,493
そ の 他 業 務 費 用	1,954
営 業 経 費	26,181
そ の 他 経 常 費 用	6,115
経 常 利 益	9,667
特 別 利 益	0
特 別 損 失	92
税 金 等 調 整 前 中 間 純 利 益	9,575
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	1,038
法 人 税 等 調 整 額	184
法 人 税 等 合 計	1,222
少 数 株 主 損 益 調 整 前 中 間 純 利 益	8,352
少 数 株 主 利 益	252
中 間 純 利 益	8,099

### ■ 中間連結株主資本等変動計算書の要旨 (平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)

	株 主 資 本					その他の包括利益 累 計 額 合 計	新 株 予 約 権	少 数 株 主 持 分	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計				
当 期 首 残 高	79,811	59,251	46,949	△728	185,284	875	68	10,168	196,397
会計方針の変更による累積的影響額			466		466				466
会計方針の変更を反映した当期首残高	79,811	59,251	47,415	△728	185,750	875	68	10,168	196,863
当 中 間 期 変 動 額									
剩 余 金 の 配 当			△4,832		△4,832				△4,832
中 間 純 利 益			8,099		8,099				8,099
自 己 株 式 の 取 得			△0		△0				△0
自 己 株 式 の 処 分		△46		354	308				308
株主資本以外の項目の当中期変動額(純額)						10,082	△15	2	10,070
当 中 間 期 変 動 額 合 計	—	△46	3,267	353	3,574	10,082	△15	2	13,644
当 中 間 期 末 残 高	79,811	59,205	50,682	△375	189,324	10,958	53	10,171	210,508

# 池田泉州銀行

## ■ 中間貸借対照表の要旨 (平成26年9月30日現在) (単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
( 資 産 の 部 )		( 負 債 の 部 )	
現 金 預 け 金	256,742	預 金	4,698,476
コ ー ル ロ ー ン	511	譲 渡 性 預 金	11,500
買 入 金 錢 債 権	86	債 券 貸 取 引 受 入 担 保 金	275,505
商 品 有 価 証 券	146	借 用 金	122,278
金 錢 の 信 託	27,912	外 国 為 替	503
有 価 証 券	1,403,767	社 会 債	70,000
貸 出 金	3,610,132	そ の 他 負 債	25,174
外 国 為 替	7,273	賞 与 引 当 金	1,651
そ の 他 資 産	29,793	退 職 給 付 引 当 金	1,692
有 形 固 定 資 産	37,694	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	35
無 形 固 定 資 産	7,082	睡 眠 預 金 私 戻 損 引 当 金	482
前 払 年 金 費 用	7,956	ボ イ ポ ン ト 引 当 金	104
繰 延 税 金 資 産	23,050	偶 発 損 失 引 当 金	367
支 払 承 諾 見 返	17,262	支 払 承 諾	17,262
貸 倒 引 当 金	△17,188	負 債 の 部 合 計	5,225,035
投 資 損 失 引 当 金	△1,653	( 純 資 産 の 部 )	
		資 本 金	50,710
		資 本 剰 余 金	93,932
		資 本 準 備 金	13,168
		そ の 他 資 本 剰 余 金	80,764
		利 益 剰 余 金	31,180
		利 益 準 備 金	6,630
		そ の 他 利 益 剰 余 金	24,549
		繰 越 利 益 剰 余 金	24,549
		株 主 資 本 合 計	175,823
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	9,716
		繰 延 ヘ ッ ツ ジ 損 益	△6
		評 価 換 算 差 額 等 合 計	9,709
		純 資 産 の 部 合 計	185,533
		負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	5,410,568
資 産 の 部 合 計	5,410,568		

## ■ 中間損益計算書の要旨 (平成26年4月1日から平成26年9月30日まで) (単位:百万円)

科 目	金 額
経 常 収 益	44,339
資 金 運 用 収 益	30,755
( う ち 貸 出 金 利 息 )	(24,082)
( う ち 有 価 証 券 利 息 配 当 金 )	(6,470)
役 務 取 引 等 収 益	8,042
そ の 他 業 務 収 益	3,276
そ の 他 経 常 収 益	2,263
経 常 費 用	36,240
資 金 調 達 費 用	4,271
( う ち 預 金 利 息 )	(3,001)
役 務 取 引 等 費 用	4,232
そ の 他 業 務 費 用	2,043
営 業 経 費	24,200
そ の 他 経 常 費 用	1,493
経 常 利 益	8,098
特 別 利 益	9
特 別 損 失	87
税 引 前 中 間 純 利 益	8,020
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	256
法 人 税 等 調 整 額	157
法 人 税 等 合 計	414
中 間 純 利 益	7,606

## ■ 中間株主資本等変動計算書の要旨 (平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)

	株 主 資 本				評 価 ・ 換 算 合 計	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 本 剰 余 金 合 計	利 益 剰 余 金 合 計	株 主 資 本 合 計		
当 期 首 残 高	50,710	93,932	28,513	173,156	△200	172,956
会計方針の変更による累積的影響額			466	466		466
会計方針の変更を反映した当期首残高	50,710	93,932	28,979	173,623	△200	173,422
当 中 間 期 变 動 額						
剰 余 金 の 配 当			△3,405	△3,405		△3,405
中 間 純 利 益			7,606	7,606		7,606
株主資本以外の項目の当中期変動額(純額)					9,909	9,909
当 中 間 期 变 動 額 合 計	—	—	2,200	2,200	9,909	12,110
当 中 間 期 末 残 高	50,710	93,932	31,180	175,823	9,709	185,533

## プロフィール

### 株式会社 池田泉州ホールディングス

設立日 平成21年10月1日  
所在地 大阪府大阪市北区茶屋町18番14号  
資本金 798億円  
事業の内容 銀行、その他銀行法により子会社とすることができる会社の経営管理及びこれに付帯関連する一切の事業  
従業員数 89名  
上場取引所 東京証券取引所

#### ■役員 (平成26年6月27日現在)

代表取締役社長 藤田博久	取締役 田原彰	取締役(社外) 平松一夫
代表取締役会員 片岡和行	取締役 鵜川淳	監査役(常勤) 昌尾一弘
代表取締役 久保田洋	取締役 井上基	監査役(常勤) 西隆史
代表取締役 辻二郎	取締役 前川浩司	監査役(社外) 今中利昭
	取締役 前野博生	監査役(社外) 佐々木敏昭
	取締役 宮田浩二	



(平成26年9月30日現在)

### 株式会社 池田泉州銀行

設立日 昭和26年9月1日  
所在地 大阪府大阪市北区茶屋町18番14号  
資本金 507億円  
預金 4兆6,984億円  
貸出金 3兆6,101億円  
店舗数 139力店  
従業員数 2,601名

#### ■役員 (平成26年6月27日現在)

代表取締役頭取 藤田博久	常務取締役 田原彰	取締役(社外) 平松一夫
代表取締役会員 片岡和行	常務取締役 鵜川淳	監査役(常勤) 小林弘明
代表取締役 久保田洋	常務取締役 井上基	監査役(常勤) 北川智司
代表取締役専務 辻二郎	取締役 前川浩司	監査役(社外) 大橋太朗
	取締役 前野博生	監査役(社外) 山田庸男
	取締役 宮田浩二	

### 池田泉州TT証券 株式会社

設立日 平成25年1月30日  
所在地 大阪府大阪市北区茶屋町18番14号  
資本金 12億5,000万円  
店舗数 3力店  
従業員数 70名

#### ■役員 (平成26年6月27日現在)

代表取締役社長 北村康男	監査役(常勤) 坂戸豊
代表取締役副社長 田島寛美	監査役(社外) 昌尾一弘
常務取締役 片山憲昭	監査役(社外) 脇田廣一

## 店舗のご案内

### ● 池田泉州銀行店舗

△ 同店舗外ATMコーナー  
◆ 同外貨両替ショップ

### ● 池田泉州TT証券店舗

(平成26年12月1日現在)





## ■池田泉州銀行店舗外ATM設置場所 (平成26年12月1日現在)

### 大阪府

大 阪 市  
あべのハルカス  
淡路西  
イズミヤ上新庄  
関西スーパー・南江口  
グランフロント大阪  
なんばCITY

池 田 市  
池田市役所  
市立池田病院  
伏尾台

箕 面 市  
粟生間谷

豊 能 郡  
能勢町役場  
のせボックス

豊 中 市  
イズミヤ上新田  
小曾根  
北急千里中央駅前  
豊中市役所  
東泉丘  
豊中南

吹 田 市  
アザール桃山台  
ガーデンモール南千里

高 樹 市  
南平台

枚 方 市  
長尾台

交 野 市  
コモシティ星田

大 東 市  
オーツワ大東店

グルメティ野崎店

羽 鬼 野 市  
ライフ恵我之荘店

富 田 林 市  
サニーヒルズ金剛

堺 市  
浅香山

アリオ鳳

イオンモール堺北花田

石 津

大阪労災病院

クロスモール

コノミヤ中もず店  
ナカバヤシ  
中もず駅前  
パンジョ

高 石 市  
高石駅西口

高石市役所

泉 大 津 市  
アルザ泉大津

泉大津市役所

泉大津市立病院

和 泉 市  
和泉市役所

和泉市立病院

イオンと泉府中店

エコール・いすみ

オーツワと泉小田店

スーパー・サンエー光明台店

ららぽーと和泉

泉 北 郡  
忠岡町シビックセンター

ライフ忠岡店

岸 和 田 市  
オーツワ岸和田八田店

大 室

岸和田駅東

岸和田市民病院

岸和田市役所

スーパー・サンエー・上松店

スーパー・サンエー・フード田中店

スーパー・サンエー・山直店

蛸島駅前

トーカタウン

トーカタウン・一番街

ペイサイドモール

ラパーク岸和田

泉 南 市  
イオンモールりんくう泉南  
泉南市役所  
デイリーカナート新家店

阪 南 市  
自然田

デイリーカナートはやし阪南店

鳥取駅前

阪南市役所

わくわくCITY

西 宮 市  
コーブ西宮北  
JR西宮名塩駅前  
阪急西宮ガーデンズ  
関西学院大学上ヶ原キャンパス

伊 丹 市  
イオンモール伊丹

市立伊丹病院

伊丹市役所

宝 塚 市  
すみれガ丘

ダイエー宝塚中山

ビピアめむ

宝塚市役所

宝塚市立病院

川 西 市  
川西市役所

けやき坂

市立川西病院

川 辺 郡  
猪名川町役場

イオン猪名川店

三 田 市  
イオン三田ウッディタウン

三田駅前

関西学院大学三田キャンパス

## ■池田泉州銀行ステーションATM「Patsat (パッとサッと)」設置場所 (平成26年12月1日現在)

### 阪急電鉄

#### 阪急梅田駅

梅田駅 3F中央 改札内(精算機横)  
梅田駅 3F 南 改札外  
梅田駅 3F 西 改札外  
梅田駅 2F 中央 改札内(精算機横)  
梅田駅 2F 西 スーパー成城石井前  
梅田駅 2F 東 改札外  
梅田駅 1F 中央 ビッグマン広場前  
梅田駅 茶屋町口 阪急三番街北館1F

#### 阪急宝塚線・箕面線

十三 駅 改札内(宝塚行きホーム)  
三国 駅 改札外  
庄内 駅 東出口  
曾根 駅 改札外  
岡町 駅 改札外  
豊中 駅 南改札内および外  
茨池 駅 改札外  
石橋 駅 東改札外、改札内(アズナス横)  
池田 駅 改札外  
川西能勢口駅 改札内、西改札外、東改札外  
宝塚 駅 改札外  
箕面 駅 改札外  
**阪急神戸線・今津線**  
園田 駅 改札外  
塚口 駅 南改札外  
武庫之荘 駅 北改札内(階段横)

西 宮 北 口 駅 改札内(駅長室隣)、北改札外、南改札外、東改札外

夙 川 駅 南改札外  
岡 本 駅 改札内(三宮方面行きホーム)  
六 甲 駅 改札外  
神 戸 三 宮 駅 東改札外、西改札外、改札内

逆瀬川 駅 改札外  
小 林 駅 改札外  
甲 東 園 駎 改札外

**阪急京都線・千里線**  
南方 駅 改札内(梅田行きホーム)  
淡路 駅 西改札外  
上新庄 駟 南改札外  
正雀 駅 改札内  
茨木 駅 改札外  
茨木市 駅 改札外  
高 樹 市 駎 改札外  
長岡天神 駅 改札外  
桂院 駅 改札内  
西大宮 駎 改札外  
大鳥丸 駎 西改札外  
河原町 駎 東改札外、中央改札外  
関大前 駎 北改札外  
南千里 駎 改札外  
山田 駎 改札外  
北千里 駎 改札外

### 北大阪急行電鉄

#### 北大阪急行

千里中央駅 改札外  
桃山台駅 改札外  
緑地公園駅 改札外

### 阪神電車

#### 阪神本線

梅田駅 東改札外  
野田駅 改札外  
尼崎駅 西改札外  
甲子園駅 東改札外(アズナス前)  
西宮駅 えびす口改札外  
御影駅 改札外

**阪神なんば線**  
西九条駅 西改札外

### 南海電鉄

#### 南海本線

なんば駅 3F北改札外、3F改札内、2F中央改札外、2F南改札外  
新今宮駅 改札内  
天下茶屋駅 改札外  
堺駅 改札外  
羽衣駅 改札外  
泉州大津駅 改札外  
岸和田駅 改札外  
貝塚駅 改札外(アンスリー店内)  
泉州佐野駅 改札外  
関西空港駅 改札外

### 南海高野線

三国ヶ丘駅 改札外(N.KLASS2階)  
中百舌鳥駅 改札外  
北野田駅 改札外  
金剛駅 改札外  
千代田駅 改札外  
河内長野駅 改札外

### 神戸市営地下鉄

西神・山手線  
三宮駅(西出口) 改札外  
県庁前駅 改札外  
湊川公園駅 西改札外  
新長田駅 改札外  
板宿駅 改札外  
妙法寺駅 改札外  
総合運動公園駅 改札外  
学園都市駅 改札外  
西神中央駅 改札外

### 海岸線

三宮・花時計前駅 改札外

### コンビニエンスストア ほか

アズナス新阪急ホテル アズナス店内  
淀川クリスト教病院 1F総合受付横  
阪急西宮ガーデンズ 1Fエスティバルガーデン出入口  
アンスリーekimoなんば アンスリー店内  
アンスリー南海 アンスリー店内  
なんば第1ビル アズナス店内  
アズナス茨木店 アズナス店内

## ■池田泉州銀行TT証券店舗所在地 (平成26年12月1日現在)

本 店 営 業 部 大阪市北区茶屋町18番14号 T530-0013

☎(06) 6485-0337

(池田泉州銀行 本店営業部内)

堺 支 店 堀川区一条通14番8号 T590-0048

☎(072) 225-5711

(池田泉州銀行 堀川支店内)

神 戸 支 店 神戸市中央区雲井通7丁目1番1号 T651-0096

☎(078) 242-1131

(ミント神戸13階・神戸新聞会館ビル)

## 株主優待制度のご案内（平成26年3月実績）

毎年3月31日現在で当社株式を200株以上保有されている株主さまに株主優待を実施しております。2,000株以上を保有されている株主さまには、地域の特産品等（和・洋菓子、地酒、食品等）をお選びいただける「株主優待カタログ」をご用意しております。「株主優待カタログ（地域特産品等）」は、保有株数、保有期間に応じて、より充実した内容にさせていただいております。

※優待制度のご利用方法などの詳細は、対象株主さまに別途ご案内いたします。（毎年6月下旬予定）

保有株数	保有期間	優待内容
6,000株以上 （※3）	3年以上（※2）	株主優待カタログ（地域特産品等）5,000円相当
	3年未満	株主優待カタログ（地域特産品等）3,000円相当
2,000株以上 6,000株未満 （※3）	3年以上（※2）	株主優待カタログ（地域特産品等）3,000円相当
	3年未満	株主優待カタログ（地域特産品等）2,000円相当
200株以上 2,000株未満 （※3）	—	株主優待定期預金（※1）

（※1）株主優待定期預金のお取扱い内容

お取扱い店舗	●池田泉州銀行の全店舗窓口 ●インターネット支店・ダイレクト支店のテレホンバンキング（インターネットバンキングでのお取扱いはできません）
定期預金の種類	スーパー定期・スーパー定期300
お預入れ期間	1年
お預入れ金額	10万円以上500万円以下
適用金利	スーパー定期店頭表示金利+0.3%（初回満期日まで適用） (預入金額300万円以上の場合は、スーパー定期300の店頭表示金利+0.3%)

（※2）3年以上継続保有の確認は、直近の3月31日を基準として遡り、平成23年3月31日以降毎年3月31日及び9月30日の当社の株主名簿に同一株主番号で連続して7回記載または記録されていることをもって判定いたします。

（※3）当社は平成24年8月1日付で5株を1株とする株式併合を実施しており、優待内容を決定する上での平成24年3月31日以前の保有株数については、以下の通り読み替えさせていただきます。

平成24年3月31日以前の株主名簿上の保有株数	30,000株以上	10,000株以上30,000株未満	1,000株以上10,000株未満
読み替え後の株数	6,000株以上	2,000株以上6,000株未満	200株以上2,000株未満



## 株式についてのご案内

**事業年度** 每年4月1日から翌年3月31日まで

**定時株主総会** 每年6月

**剰余金の配当受領株主確定日**

3月31日及び中間配当金の支払いを行うときは9月30日

**基準日** 定時株主総会の議決権 3月31日

その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

**公告掲載方法** 電子公告により行います。

公告掲載URL <http://www.senshuikeda-hd.co.jp/>  
(ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告を行うことができない場合は、産業経済新聞に掲載して行います。)

## 〈各種お手続について〉

### ●配当金の口座振込に関するお受取りのご案内

配当金のお受取りにつきましては、都度ゆうちょ銀行・郵便局の窓口へお運びいただく必要のない口座振込をご活用ください。

お手続につきましては、お取引の証券会社窓口までお申出ください。特別口座（※）で株式をご所有いただいている株主さまは、三菱UFJ信託銀行へお申出ください。

### ●単元未満株式の買取請求・買増請求のご案内

当社の単元未満株式（1～99株）は、

①当社に対して、市場価格による買取を請求することができます。

②当社に対して、単元株式（100株）に不足する株式数の市場価格による買増を請求し、ご所有の単元未満株式と合わせて、100株にすることができます。

（※）特別口座とは、平成21年1月5日の株券電子化実施までに証券会社等を通じて証券保管振替機構（ほりり）に預託されなかった株式につきまして、当社が株主さまの名義で株主名簿管理人である上記の三菱UFJ信託銀行に開設している口座です。

### 单元株式数

100株

### 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社

### 同連絡先

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
電話 0120-094-777（通話料無料）

### 上場証券取引所

東京証券取引所

### ●株主さまのお手続に関するご案内

①株主さまの住所変更、配当金振込指定、単元未満株式の買取・買増請求その他の各種お手続につきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっておりますので、証券会社等にお問い合わせください。

②特別口座に記録されている株式に関する各種お手続につきましては、上記三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。また、特別口座に関するお手続用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話及びインターネットでも24時間承っております。

○電話（通話料無料） 0120-684-479（大阪）／0120-244-479（東京）

○インターネットホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

### ●未受領の配当金について

未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。



VEGETABLE  
OIL INK  
本誌の印刷には、環境に配慮した  
植物油インキを使用しています。



大阪府大阪市北区茶屋町18番14号 TEL.(06) 4802-0181  
<http://www.senshuikeda-hd.co.jp/>



大阪府大阪市北区茶屋町18番14号 TEL.(06) 6375-1005  
<http://www.sihd-bk.jp/>



大阪府大阪市北区茶屋町18番14号 TEL.(06) 6485-0031  
<http://www.sittsec.co.jp/>